

2020年12月

各位

公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター
理事長 高橋 彰

2020年度原環センター研究発表会開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

弊センターは、1976年10月の設立以来、関係各位のご指導、ご支援を頂きながら、放射性廃棄物の安全かつ合理的な処理処分の実現に求められる様々な試験、研究、開発、調査等を推進し、その成果の普及に努めてまいりました。

このたび、2020年度原環センター研究発表会として、原環センターの調査研究の現状についての発表及び経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）事務次長上級補佐官 森田深氏をお招きした特別講演「原子力エネルギーの利用に関する国際機関の働き」を企画いたしました。

今般の新型コロナウイルス感染症対策を考慮して、オンラインでの開催とさせていただきますことといたしました。ご多忙中とは存じますが、多数ご参加頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 開催日時 2021年1月12日（火） 14:00～16:30
2. 開催形式 オンライン開催
※オンライン参加のための招待メール及び視聴方法等に関する案内は、開催日前日までに、お申込みいただいたメールアドレス宛にお送りします。
3. プログラム 別紙
4. お申込み
2021年1月5日（火）までに弊センターホームページ（<https://www.rwmc.or.jp/>）の【2020年度 原環センター研究発表会】からお申込みください。
定員は200名とさせていただきます。定員に達しましたら、お申込みを締め切らせていただきますので、ご注意ください。
5. 問い合わせ （公財）原子力環境整備促進・資金管理センター 企画部
東京都中央区明石町6番4号 ニチレイ明石町ビル12階
電話 03-6264-2111（代表）

以上

プログラム（オンライン開催）
開催日：2021年1月12日（火）

開 会（14:00）

1. 挨拶（14:00～14:10）

理事長 高橋 彰

2. 研究発表

原環センターの調査研究の現状について

（14:10～15:00）

常務理事 田中 俊彦

休 憩 （15:00～15:15）

3. 特別講演

原子力エネルギーの利用に関する国際機関の働き

（15:15～16:30）

経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）事務次長上級補佐官
森田 深 氏

閉 会（16:30）

特別講演概要

原子力エネルギーの利用に関する国内の政策には日米間原子力技術協力をはじめとする二国間協力とIAEA、OECD/NEA、WANOを通じた多国間枠組みによるベンチマークがともに影響を及ぼしてきた。なかでもIAEA、OECD/NEAは政府間機関だが、我が国は政府職員のみでなく産業界、研究機関、大学の専門家が広く活動に参加し、海外情報の導入とともに国内情報の国際機関への環流を行い、政策の最適化を図ってきた。国内原子力エネルギー政策が変容しつつある中、日本の政府機関、産業界、研究機関、大学の国際機関への参画がどのように変化していくのか、国際機関が加盟国の期待にいかに対応しようとしているのかについて考えてみる。

講師紹介

経済産業技官。1991年北海道大学工学部土木工学科卒業、通商産業省入省。約30年の勤務期間のうち国際機関派遣4回、国際エネルギー機関、国際原子力機関（IAEA）、経済協力開発機構原子力機関（OECD/NEA）に通算11年勤務。また青森県で2年、福井県で1年の勤務を通じて立地地域の地方自治体との政策調整を経験する。前職のIAEA核安全・核セキュリティ一局勤務時には安全基準の改定を事務局として推進。現在